

交通指導隊初出式

消防出初式

新時代のスタート

無事故・無火災を誓い合う

新春恒例の交通指導隊初出式と消防出初式が一月五日、前日まで降り続いた雪も止み穏やかな天候のもと行われ、新年の気持ち新たに、二十一世紀最初の年の無事故、無火災を誓い合いました。午前八時三十分から北都銀行二ツ井支店前で行われた交通指導隊初出式では、十七人の隊員が整列。町長の訓辞、田口町議会議長、斉藤参議院議員、武田県議会議員などのあいさつに続いて、簾内昭一郎隊長が「現在の交通事故の現状を厳しく受け止め、決意を新たに、今年も街頭指導、広報など交通安全思想の普及活動を積極的に進め、安全で快適なまちづくりに努めます」と誓いの言葉を述べました。



新しい時代迎え、無事故の決意を述べる
簾内昭一郎交通指導隊長

九時過ぎからは制服姿に身を包んだ二百十名の消防団員がラッパ隊を先頭に駅通りを威風堂々の分列行進。町長の観閲を受けました。続いて、福祉会館では出初式式典が行われ、町長が「消防人としての士気と気概を一層高め、更なる活躍を果たされますよう期待するとともに、消防発展のため、ともに邁進することを誓います」と告示。茂呂進消防団長が「訓練に励み、健康に留意され、消防人としての使命達成のため、邁進していただき、団員相互の信頼と強い団結のもと念願の無火災消防団を実現できるように一層の努力を誓います」と訓示した。

また、消防活動などに貢献した個人・団体の表彰が行われ、七十四人、四団体が受賞。参加者は、新たな年の更なる防災意識を高め合っていました。



規律正しく威風堂々の行進を行う消防団

防 永年勤続者表彰

受賞された方々

●内の数字は分団、本は消防本部、消は消防署

敬称略

【秋田県知事表彰】

池信洋・石田一茂

有功章 安井廣光 齊藤文雄

【町長表彰】

十年以上無火災分団

雄 原田幸男 和田榮一

第十三分団(昭和五十一年五月三十一日〜平成十二年十二月三十一日)

三十五年永年勤続章 成田

第三十一日(平成十二年十二月三十一日)

廣治

三十年永年勤続章 藤田喜一郎

十一日(二十四年七月月間)

高橋勝利 工藤修吉 工藤衛

第四分団(平成二年一月十日〜十二年十二月三十一日)

松橋福美

十二年十二月三十一日

松橋福美

一力月間

二十五年永年勤続章 成田

三年以上無火災分団

三男 秋林靖一 金勝雄 成田

第九分団(平成九年五月二十六日〜十二年十二月三十一日)

三男 菊池久義 藤田敬一

日(十二年十二月三十一日)

二十年永年勤続章 清水明

年七月月間

美 大高育雄 茂内清 工藤博史

第十一分団(平成九年十月十五日〜十二年十二月三十一日)

功勞章 畑山強 工藤實

年二月月間

成田東八

甲種精勤章

十五年勤続章 清水弘 清水睦

川健 藤田正 成田良秋 金野

水睦 山谷清英 野呂富士夫

秀樹 簾内勝文 島山繁喜 伊藤康之 工藤正春

島山強 島山喜久美 菊池清一

乙種精勤章

・七尾孝則

岡淳一 平川浩 七尾行美 藤田昭彦 成田修 島山明 島山進栄

十年精勤章 豊沢俊幸 大

《報告》

高一直 大高隆昌 三浦鉄也 奥村英明 清水重美 高橋直樹

【消防庁長官表彰】

七尾誠 茂内義輝 齊藤茂義

【日本消防協会会長表彰】

田中雅樹 佐原秀行

【日本消防協会支部長表彰】

七年勤続章 島山英範 大

永年勤続功勞章

高孝之 池端淳 藤田正廣 齊藤博光 児玉正人 小笠原徹弥

精績章 成田廣治

森田良信 佐藤美津人 山田尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

勤続章 工藤弘美 工藤忠一郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美

尚樹 山田康広 石山錦晴 菊

郎 松橋福美



川を守るきれいな排水

～町では合併処理浄化槽の設置を進めています～

家庭から出される生活雑排水はほとんど未処理のまま放流されています。地域によっては排出される水の汚れが際立ってひどいところもあり、自然環境を破壊しない水処理が求められています。

このようなことを防ぐため、町では合併処理浄化槽の設置を進めています。すべての人が快適な生活をおくれるよう生活排水処理事業をご理解ください。

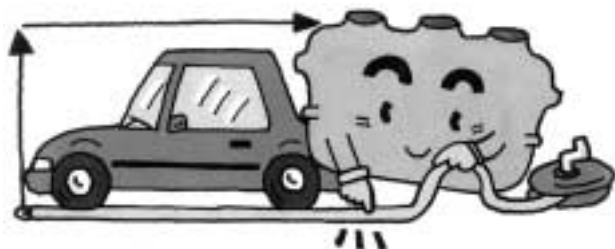
●様々な家庭排水を併せて処理する 合併処理浄化槽

家庭から出る水洗トイレの汚水以外の排水を生活雑排水と言いますが、その質や量は地域や家庭によって異なります。

食事の種類や調理のしかた、洗濯の回数や洗剤の使用量、浴槽の大きさ、シャワーの回数など、人々の生活パターンがその排水に集約されています。このような様々な生活雑排水とトイレの汚水を併せて処理するのが合併処理浄化槽です。

●家庭で使った水の汚れを 約90%も減らします

●自動車1台分のスペースがあれば すぐに設置は可能です



●町が責任を持って設置するので 負担が少なく安心です

合併処理浄化槽の設置者を募集しています。浄化槽の機能や自然環境などに関心のある方はお気軽にご相談ください。

浄化槽本体の設置は冬期間でも可能です。家庭内の配管などは雪が消え暖かくなる春になってから…。

4月に住宅を新築予定の方の申込みも受け付けていますのでお早めに！

問い合わせ先

生活環境課上下水道係（庁舎1階 番窓口）
73 - 5501

設置者の方々へ

使用中に万一、異常が発生した場合は生活環境課上下水道係へご連絡ください

●ブローワー（送風機）が停止したとき。



●異常音が発生しているとき。



●臭気がひどいとき。



カメラすけっち



1/1

二ツ井山の会

元日登山
今年で三十三回目を迎えた、恒例の二ツ井山の会。元日登山が町内外から百二名参加し行われました。この日は新春を飾るにふさわしい晴れた朝を迎え、午前八時半二ツ井駅を出発。途中、仁鮎から出発した方々と合流。七座山、権現座を目指しました。午前十一時過ぎには目的地に到着。拝殿に玉串をささげ、一年の安全、無病息災を祈願。昼食をとりながら新年の抱負を語り合っていました。



12/31

ときめきカウントダウンイン21

新時代、二十一世紀をみんなでカウントダウンをし祝おうと大晦日に福祉会館前でときめきカウントダウン21が行われました。日中降り続いた雨で天候が心配されましたが、夜半にはすっかり晴れ、午後十一時三十分ころから大勢の人が集合。二ツ井にちなんで二十一秒前からのカウントダウン。午前〇時とともに祝い樽が割られると来場者は万歳で新時代の幕開けを喜び合っていました。



1/4

出稼者就労 推進集会

遠く故郷を離れ、家族のため、町の発展のため全国各地で就労している出稼者の安全就労推進集会が十四名参加し、伝承ホールで行われました。当日は、働くためには健康が大事と健康診断。町長が「みなさんが町を離れても安心できる町づくりを行います。これからも健康に留意しがんばってください」と激励。参加者はそれぞれの労働条件を話し合ったりし、情報交換を行っていました。



1/1

年賀状配達

元日出発式
みんなが元日に待っている年賀状。この配達出発式が午前九時から二ツ井郵便局で行われました。二ツ井郵便局元日発送分の年賀状は二十一万九千九百十三通。局内で配達員にメッセージが贈られた後、みんな乾杯。大きな鞆に一杯に詰められた年賀状を持ち、揃いのジャンパーで赤い自転車に乗った学生アルバイトや局員が元気に配達先の各家々へ向かっています。



1/21

地域

新エネルギー 施策説明会

二ツ井町は町づくりの基本を「みどりのフロントティア」とし、環境の配慮を考え各種施策を進めています。そして、これから様々な場所で必要とされるエネルギーについて、町の特性を活かし導入できないかを検討。二ツ井町新エネルギービジョンを作成しました。このビジョンを基に、各種施策を実施していくための説明会が約二百人が出席し、福祉会館で行われました。当日はこれからの新エネルギーについての講演。ビジョンを現実性などについて話し合い、木質エネルギーなど新エネルギーの必要性を確認。参加者は、新時代のエネルギーのあり方に強い関心を示していました。